

中心市街地 クリニックが進出

長岡市の中心市街地、大手通坂之上町地区の再開発事業で整備する「米百俵ブレイス」（仮称）に複数の診療科を備え、夜間診療にも対応するクリニックが進出すると、運営する医療法人が1日、発表した。

再開発事業は、旧大和長岡店と長岡商工会議所会館を建て替え、北越銀行本店を改修して米百俵ブレイスを整備する。

進出するのは、長岡市の医療法人メディカルビット

バレーが運営する「エール長岡クリニック」。現在の北越銀行駐車場に建設される5階建て駐車施設の1階で、2022年春に開業予定。

約2千平方㍍のフロアに医療機器や手術設備を備え、内科、小児科、皮膚科の複数の専門医によるチーム診療を目指す。市民のニーズやまちなかの特性に配慮し、平日の診療時間を午前9時～午後9時とし、日夜曜も診療する。

法人は長岡市出身の内科医、澁谷裕之理事長が設立し、20年3月に認可を受けた。10月には下柳に別のクリニックを開設する予定で、医師10人が2施設を巡回して診療に当たる。



クリニック進出について
会見する澁谷裕之理事長
(左から3人目)と磢田
達伸市長(右隣)＝1日
アオーレ長岡

同席した磢田達伸市長は
「中心市街地の居住環境の向上や、雇用の創出に寄与することを期待している」

会見した澁谷理事長は
「夜間に診療をすることで、
大規模病院の勤務医の負担
を減らしたい」と語った。

同席した磢田達伸市長は
「中心市街地の居住環境の向上や、雇用の創出に寄与することを期待している」

長岡市

医療施設22年開院

再開発C街区1階2000m²で

長岡市が進める大手通
坂之上町地区市街地再開
発事業のC街区(駐車・トバ
レー(渋谷裕之理事)

長)が運営する「エール
長岡クリニック」が進出
することが分かった。

1日に会見が開かれ、
開業に当たつての方針や
チーム診療、AIを活用
した新医療技術開発を行
院する予定。

医療体制の強化について
磯田達伸市長と渋谷理事
長がそれぞれ説明した。

開院場所は坂之上町地
内、再開発事業C街区1
階部の2000m²で、内

同法人は3月27日に医
療法人認可。10月に下柳

科、皮膚科、膠原病リウ
マチ科、アレルギー科な

どの専門医師10人による

地内にエールホームクリ
ニックを、22年春に「エー
ル長岡クリニック」を開

い、市の進めるイノベ
ーション施策と連携した地
域医療環境の構築を図
る。

市内中心部にクリニックが開業

再開発に合わせ



休日と夜間にに対応するクリニックに期待が集まる

大手通坂之上町地区の再開発事業では、現北越銀行駐車場に5階建ビル「にぎわい棟」が建設される。同ビルに2022年春、診療所が開業する。名称は「エール長岡クリニック」。20年3月に認可を得た医療法人メディカルビットバー(瀧谷裕之理事長)の運営になる。同医療法人は今年10月、長岡市下柳地内に「エールホームクリニック」を開院する予定である。

長岡市中心市街地整備室は1日、記者会見を設営。磢田達伸市長臨席のもとに医院関係者5人が出席して詳細を公表した。

診療科目は内科、小児科、皮膚科、膠原病リウマチ科、アレルギー科。まちなかでの開業になるとから日曜日も開院するという。休診日は土曜日、診療時間は平日午前9時から午後9時まで。日曜日は午前9時から午後3時まで。

参画する医師は10人で平均年齢は39歳。託児所

を用意し、女性の医師やスタッフが活躍できるようにする。研究や医師の育成にも力を注ぎたいと

している。記者会見で瀧谷裕之医師(理事長・長岡市出身)は「地方の医師不足を解消するため、総合診療がテーマである」と強調。

磢田市長は「休日夜間も対応するクリニックが街中に出来る」と期待を込めて、同医院は「医療のサービスとしてAIを使つた画像解析などを中心に新しいタイプのクリニックになる。また中

心市街地の居住環境向上や雇用面でも期待が大きい」として、「和気あ